

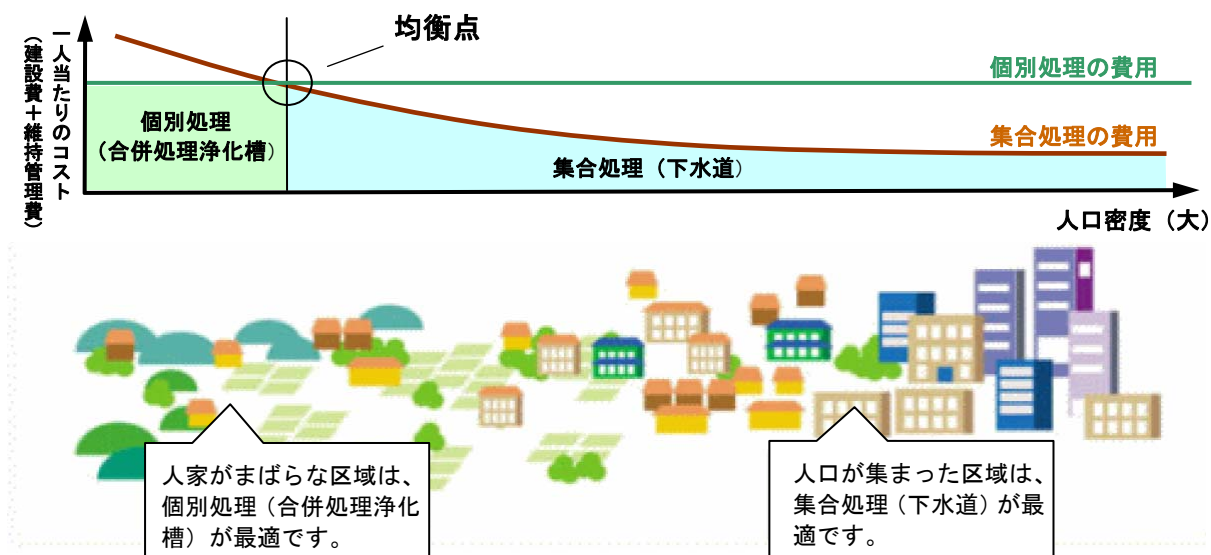
あま市污水適正処理構想（案）

平成 23 年

愛 知 県 あ ま 市

1. 污水適正処理構想とは

「あま市污水適正処理構想」とは、市全域を対象とした効率的かつ効果的な污水处理施設の整備を行うために、愛知県の示す構想策定の基本方針に基づき、下水道、合併処理浄化槽等の各種污水处理施設の整備予定区域等、今後のあま市の污水处理施設の整備方針を示すものです。



2. 見直しの理由

「あま市污水適正処理構想」は、市町村合併前の平成 15 年度に旧町単位で策定し、平成 16 年 3 月に愛知県が県内市町村の処理構想をとりまとめ、「全県域污水处理適正構想」を策定しました。

しかしながら、人口減少や高齢化の本格化、地域社会構造の変化など污水处理施設の整備を取り巻く諸情勢が大きく変化していることから、これらの事項を反映した污水处理施設の整備構想を策定する必要性が生じており、あま市においても「あま市污水適正処理構想」の見直しを行なうものです。

なお、あま市の将来の行政人口は、下表のように今後 20 年間は緩やかに減少し、大きく変動しないものと予想されます。

■あま市の将来行政人口

	現況	将来	
	2008 平成20年度	2020 平成32年度	2030 平成42年度
行政人口 (人)	86,103	86,100	85,900

3. あま市の汚水処理の現状

あま市の下水道事業は、平成15年6月に流域関連公共下水道として事業着手し、市街化区域を中心に整備を進め、平成22年3月末に一部供用開始ができたところです。

下水道の計画区域の整備完了までには、数十年かかることが予想され、今後は施設のより効率的な整備、管理運営に努めていく必要があります。

4. 構想見直しの基本方針

あま市污水適正処理構想の見直しの基本方針は、以下のとおりです。

【見直しの基本方針】

- ①市町村合併、人口減少などの社会情勢の変化を反映する。
- ②最新の費用単価を用いた経済比較（集合処理・個別処理の判定）を行う。
- ③整備優先順位を考慮した段階的整備計画を立案する。

5. 構想見直しによる指標（面積・処理人口）の変化

今回のあま市污水適正処理構想の見直しによる指標（面積・処理人口）の変化を前回と比較して以下に示します。

■構想見直し比較表（前回との比較）

整 備 手 法		前回の構想		今回の構想		増減	
		計画面積(ha)	処理人口(人)	計画面積(ha)	処理人口(人)	計画面積(ha)	処理人口(人)
集合処理区域	公共下水道	1,623.2	92,585	1,672.8	85,885	49.6	-6,700
個別処理区域	合併処理浄化槽	0.6	15	0.6	15	0	0
合 計		1,623.8	92,600	1,673.4	85,900	49.6	-6,700

※公共下水道の処理人口が前回と比較して“－”となっているのは、将来の行政人口が緩やかに減少するものと予測されるためです。

6. 今回の「あま市污水適正処理構想」策定のポイント

今回の「あま市污水適正処理構想」策定のポイントは、以下のとおりです。

- ①調整区域における新規宅地などを対象に、污水整備手法の選定を行いました。
- ②人口・世帯数など将来予測値を20年後（平成42年）に設定し、污水整備手法の経済比較を行いました。

污水整備手法の選定結果を下表に示します。調整区域のなどの污水整備は、公共下水道による集合処理方式で、一体的整備を実施することが経済的に有利と判断されます。これは、新規宅地を含めたあま市内の既存家屋や事業所が比較的まとまった位置に配置しているためと考えられます。

■調整区域の新規宅地などの污水整備手法の選定

検討対象 区域番号	面積 (ha)		戸数（戸）		人口（人）		経済比較による集合・ 個別処理の判定
			現況 (2008)	計画 (2030)	現況 (2008)	計画 (2030)	
A	①	0.4	1	1	41	41	公共下水道による集合処理
	②	2.1	35	32	185	185	公共下水道による集合処理
	③	0.7	2	2	73	73	公共下水道による集合処理
	④	0.3	7	6	32	32	公共下水道による集合処理
	⑤	2.9	48	43	286	285	公共下水道による集合処理
	⑥	9.9	106	95	1,084	1,081	公共下水道による集合処理
	⑦	7.7	95	86	751	749	公共下水道による集合処理
	⑧	5.4	81	73	607	606	公共下水道による集合処理
	⑨	1.0	13	12	63	63	公共下水道による集合処理
	⑩	2.0	19	17	272	271	公共下水道による集合処理
	⑪	3.9	25	23	430	429	公共下水道による集合処理
	⑫	0.4	8	7	37	37	公共下水道による集合処理
	⑬	0.4	6	5	44	44	公共下水道による集合処理
	⑭	0.4	5	5	36	36	公共下水道による集合処理
	⑮	0.4	7	6	33	33	公共下水道による集合処理
	⑯	10.5	141	127	1,042	1,040	公共下水道による集合処理
	⑰	0.3	4	4	25	25	公共下水道による集合処理
	⑱	0.9	18	16	94	94	公共下水道による集合処理
	計	49.6	621	560	5,135	5,124	
B		0.6	5	5	15	15	合併処理浄化槽による個別処理

- ※・検討対象区域番号は「あま市污水適正処理構想図(案)」（別添）に対応しています。
- ・集合処理・個別処理の判定は、污水处理を公共下水道もしくは合併処理浄化槽で整備する場合の経済比較に基づき行っています。
 - ・公共下水道・合併処理浄化槽の整備単価は、愛知県の「全県域污水適正処理構想マニュアル」に示される値を参考にしました。

7. 今後の整備の見通し

【最終目標】

「あま市污水適正処理構想（案）」による計画面積及び処理人口は、構想見直し比較表及び別添構想図（案）に示したとおり、公共下水道区域 1,672.8ha（計画処理人口 85,885 人）、合併処理浄化槽区域 0.6ha（計画処理人口 15 人）としました。

これにより、あま市の家屋や事業所等が立地している区域のほぼ全域を公共下水道による汚水処理を実施することとなり、市内並びに周辺地域の公共用水域の水質保全に努めうると考えています。

【中期目標】

今後は、2020 年度末（平成 32 年度末）を中期目標として、既存の住宅密集地を中心に整備を推進する方針としました。

【中期目標値（平成 32 年度末）】

整備面積 653.4ha（平成 21 年度末 363ha）

■段階的整備計画（中期目標・最終目標）

区分		中期目標 (2020年度末)		最終目標	
		面積 (ha)	人口 (人)	面積 (ha)	人口 (人)
集合処理	公共下水道事業	653.4	26,399	1,672.8	85,885
個別処理	合併処理浄化槽	0.6	15	0.6	15
未整備	集合処理区域内	(1,019.4)	(59,686)	—	—
	個別処理区域内	—	—	—	—
	小計	—	(59,686)	—	—
行政区域		—	86,100	2,759.0	85,900
汚水処理人口普及率		—	30.7%	—	100.0%

